

2018 年度 事業報告

自 2018 年 4 月 1 日

至 2019 年 3 月 31 日



◆この法人の目的及び事業◆

第3条 この法人は、子育て孫育てに関わる全ての人の「はじめの一步」を助長し、「助け合う」「支え合う」「認め合う」「見守る」地域づくりを基本理念とし、地域と連携をはかり、繋がる・広がるネットワークづくりに関する事業を行い、子どもと大人、個と社会それぞれが、互いに「支え合い・助け合う」ことが自然にできる環境を目指すことを目的とする。

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 子育て支援情報の循環整理事業
- ② 次世代育成事業
- ③ 地域交流・活性化に伴うイベント事業
- ④ 子育て世代の交流、居場所を作る事業
- ⑤ 母親の社会復帰を応援する事業
- ⑥ 女性のライフスタイルにかかわる事業
- ⑦ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

①子育て支援情報の循環整理事業

【事業名】子育て情報発信サイト「あいちかすがいっこ広場」

(1) 背景

子育てにスマホが外せない時代に突入し、「雑多な情報から必要な情報を見つけることが出来ない」という子育て層の悩みを解決するために「あいちかすがいっこ広場」を作りました。そのサイトには春日井市内で活動する子育て支援団体の活動情報を発信するサイトとなりました。現在は春日井市の子育て情報サイト「Happy Mam's」とも連動し、子育て中のママやパパが情報をさっとみつけることができる環境へと繋がりました。

(2) 現 状

当法人主催の情報の発信や、事業の案内等を主に行っています。団体情報については春日井市の子育て情報サイト「Happy Mam's」にリンクを貼り、一元管理を行っています。

更新について

トップバナーの写真更新: 月 始

情報の更新: 随時

メルマガの配信: 月に 1 度配信 メルマガ会員: 約 900 名前後

(3) 成果と課題

成果

春日井市の行った子育て宣言の1つで「整える」という事業において、新たに地域の子育て情報に密着したウェブサイト春日井市の子育て情報サイト「Happy Mam's」と連動し、安心・安全な情報を発信するツールとなっています。

	訪問者数	ページビュー 月平均		訪問者数	ページビュー 月平均		訪問者数	ページビュー 月平均
4 月	1665	214.2	8 月	1477	202.3	12 月	1935	253.5
5 月	1661	321.5	9 月	1415	205.6	1 月	3303	352.1
6 月	1604	201.4	10 月	1415	205.6	2 月	1699	226.1
7 月	1619	214.3	11 月	1697	213.5	3 月	1455	239.3

課題

特にありません。

(4) 収支について

収入 0 円

支出 4,000 円×12 カ月＝48,000 円

【事業名】春日井市の子育て情報サイト「Happy Mam's」

(1) 背 景

日々、子育てに奮闘する春日井のママ達へイベント情報を中心とした情報を発信し、ママ達の幸せな生活(＝女性らしい活躍と自分らしさの実現)を応援するために春日井市が新たに 29 年度春開設しました。今までの市は市、民間は民間ではなく、「子育て情報」というくくりで情報を発信していくことを目的に当法人が 29 年度より業務委託を受け運営しています。

(2) 現 状

春日井市で子育てを始めた70%以上のママに認知されています。アクセス数も当初から変わらず多くの方に利用していただいています。

(3) 成果と課題

成果

認知度も上々、アクセス数も下記の数字となりました。「利用する人にとって、必要な情報を利用者の目線でレポートなどを行うこと」を関係者が意識して、発信し続けた結果となりました。

《ビュー数》

4 月	20,618pv	8 月	24,187pv	12 月	22,207pv
5 月	24,381pv	9 月	27,606pv	1 月	29,591pv
6 月	29,593pv	10 月	29,949pv	2 月	33,538pv
7 月	29,012pv	11 月	23,927pv	3 月	30,817pv

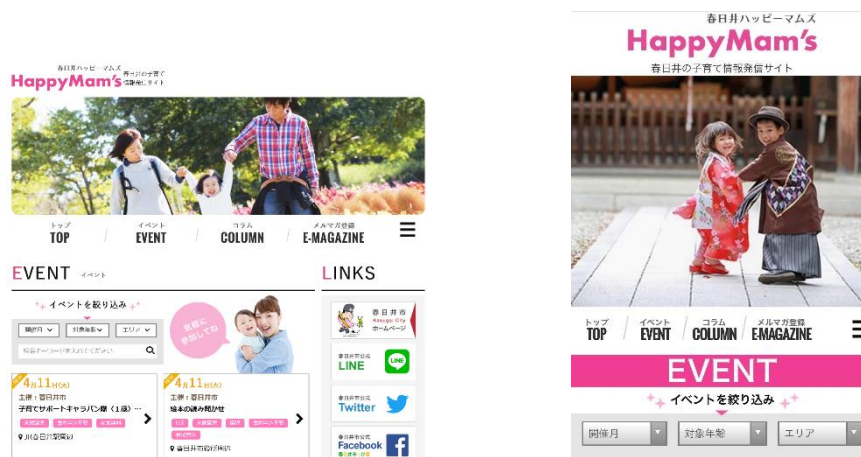
課題

当法人事業でもあるため、サイトの広報活動やレポートなどを行っているものの、委託費が当初開始時のままで行っています。作業時間や広報費などももう少し見込んで頂ける様、次年度以降に向けて検討していきたいです。

(5) 収 支

収入 396,000 円(業務委託費(春日井市より)一式 324,000 円・72,000 円)

支出 18,500 円(レポートに対する人件費(1 回 1,000 円) 及び 参加費)



【事業名】プチサミット

(1) 背景

春日井市内を中心に活動する支援団体が、その他の地域やジャンルで活動している団体とつながり、意見交換ができる場作りとして、プチサミット(意見交換会議)を開催しています。また、支援団体同士の連携を図る環境づくりや、支援者側の困りごとなどの共有をして、活動しやすい環境をサポートします。

(2) 現状

◆開催日と参加者人数◆

第 19 回 開催日 7 月 25 日(水) 参加団体 6 団体 (16 名)

(3) 変化

長きにわたり活動している団体様とはサミット開催の有無にかかわらず連携が図れるようになりました。

また、ここ数年新たに「子育てサークル」設立をする傾向はなくなりました。それは時代と共にママのコミュニティーの形が変わってきたことと、子育て期の短縮(育休の普及)で活動的なママが子育てサークルという形以外で呼びかけ集まれるようになりました。

(4) 成果と課題

成果

開催回数は 1 回になりました。このサミットで団体を立ち上げた 2013 年から 6 年が経過したので、この形での開催はいったん締めくくります。

課題

2019 年度は記念すべき「20 回目」となります。地域で子どもやママに向けて活動を行う全団体に案内ができるよう春日井市にも協力を得て行いたいと思います。

(5) 収支について

収入 0 円

支出 資料印刷費程度(1,000 円未満)のため管理費として算出

②次世代育成事業

■単発講座事業

(1) 背景

講師または当法人が主催し、「学び」の場を提供し、参加者の子育て環境の変化や、志の向上、社会とのつながりを持ち、新たな自分の発見や、取り組みの「はじめの一歩」を助長します。

(2) 実績

【講座名】春日井の幼稚園オリエンテーション～わくわく入園準備編～

【開催日】《第 1 回》西部 7 月 5 日(木)・東部 7 月 11 日(水) 《第 2 回》西部 3 月 11 日(月)・東部 3 月 13 日(水)

【内容】春日井市内の幼稚園の情報を西部・東部に分け 1 冊にまとめ、紹介を行います。また、先輩ママや幼稚園教員をお呼びして、保護者としての心構えや準備について話をいただきました。

【参加人数】

《第 1 回》西部 7 月 5 日(木)→17 名 ・東部 7 月 11 日(水)→キャンセル多数について中止

《第 2 回》西部 3 月 11 日(月)→18 名・東部 3 月 13 日(水)→10 名

【成果と課題】

成果 「自分で調べて考えて決める」ということを伝え、SNSなどで情報を得ても自分で動くということを大切にしてほしいという本来の目的を参加者に伝えることができました。

課題 0 歳児の子育て期に既に幼稚園を考えていたり、育児休暇中の母親にとって就園の早期化で心配材料が増えてくる可能性があります。また、お子様の発育状況について「我が子は●●タイプで」と保護者が決めつけているケースも少なくないことが分かりました。

発育が不安な保護者に対しては、春日井市内の療育機関への誘導など、支援状況も把握しておくことが大切だと感じました。

【収支について】

収入 17,500 円 参加費《第 1 回》500 円×17 名 《第 2 回》500 円×28 名

支出 14,000 円 交通費 1,000 円×4 回 4,000 データ作成料 10,000 円

【講座名】親子でお料理！夏休みの思い出の 1 ページ

【開催日】8 月 7 日（火）東邦ガス春日井営業所にて

【内容】当初㈱不二屋様とのコラボ企画として検討されていましたが、急遽先方から中止の意向があり当法人主催で開催しました。

【参加者】7 名

【成果と課題】

成果 企業会員様でもある東邦ガス春日井営業所様での開催だったため、会場自体の周知や東邦ガス様の新規顧客PRをして頂くことが出来ました。また、当法人にとっても日ごろから応援してくださっている正会員さんへの招待とさせていただきます。

課題 当初とは異なる形での開催となりました。今後企画やコーディネート後の中止など起きないように、企画依頼者としてしっかりとすり合わせを行っていきます。

【収支について】

収入 30,000 円 コーディネート料

支出 15,000 円 材料費+講師謝礼

【講座名】SNSでは教えてくれない子どもとの過ごし方～春日井市編～

【開催日】3 月 13 日（水）ローレルコート勝川駅前内 ラウンジにて

【内容】ローレルコート勝川駅前及びその近辺で子育てしているママに向けて「学び」の講座を開催してほしいという依頼の為、通常ソーシャルペアレント講座でお話している内容を集約し、また、プランシートで“見通しを立てる”ということについても学べる子育て講座を初開催しました。

【参加者】15 名

【成果と課題】

成果 ほぼ全員がベビーカーでの参加となり、まさに「今聞いてほしい」というターゲットが100%集まる結果となりました。また、参加者のアンケート結果の内容についても「子連れでこんな学びができてうれしい」「子育てのサイトなどでなかなか聞けない話が聞けて良かった」などと満足度 100%の結果となりました。

課題 昨今雑多な情報下で子育てしているママにとって、必要なことは「選ぶ力」と「決める力」だと考えています。特に育児のママにとって、いずれ復帰した際に社会復帰をスムーズにするためにもその力は必ず必要になります。そこでこのよう

な学びの場を、企業と中間支援組織の私たちが共に取り組むことは社会課題の解決にも繋がっていると思います。
 今回のような子育て講座で提供できる“学びの場”は今後も地域で進めていきたいと考えています。
 (ソーシャルペアレント講座との兼ね合いについて検討していく必要があると考えています)

【収支について】

収入 50,000 円(コーディネーター料・講師料)

支出 印刷費程度



【講座名】ママフレ企画 何でも聞けちゃう交流会

【開催日】3 月 15 日(金) 大和エネルフ(株)カスタマーセンターにて

【内容】「女性のライフスタイルに関わる事業」で開催している“ママフレ講座”の次回参加者を発掘するために
 1 期生との交流や、スキルアップについての明確な目標の持ち方について交流の場を持ちながら話をしました。

【参加者】12 名

【成果と課題】

成果 1 期生にとっては、自分の学びや経験のアウトプットに、2 期生は実際にママフレの受講を悩んでいるときに、心強い
 お話を聞ける機会となりました。

課題 現在ママフレ受講者の定員は 8 名前後としています。実際に交流会への参加を今まで以上に増やし、その中から
 2 期生へ誘導するためにも「自分の将来のミエルカ」を早い段階で一緒にできるようにすることが必要だと分かりました。

【収支について】

収入 3,000 円 参加費 500 円×6 名

支出 1,320 円 お茶代 110 円×12 名 (1 期生の参加 6 名・2 期受講希望者 6 名)

■防災講座

【講座名】～つながることの大切さ～ あいち防災プロジェクト

(1) 背景

「つながり」が安心に変わる！いざというとき、さっと手を差しのべられる人、それは「知り合い」です。

その知り合いを 1 人でも多くそれぞれが増やしていただけるように、その“きっかけ”となるように愛知県下 7 団体とネット
 ワークを形成します。

(2) 現状

あいち防災プロジェクトは当法人を中心に、名古屋市の育児支援団体ママスタート・クラブ、蟹江町のにこにこママネットワ
 ーク、一宮子育て支援団体アイリーファム、名東区のママのホンネ研究所、中区のコーチング、瀬戸市の育笑netの 6 団
 体が連携して運営を行っています。

(3) 変 化

現状、未発災時は活動が各団体縮小してしまっています。ただし、春日井市では今年度3団体から講座の依頼があったため、そのノウハウを継承し、各団体が依頼を受けた際に収益につながる事業として行えるようにサポートします。

また、春日井市の防災士のママとNPO法人あつとわん 代表の河野弓子さんとはじめての「防災講座」を開催しました。

(4) 成果と課題

成果

開催日	場所	参加者人数
①9 月 11 日(火)	春日井市立小野小学校	35 名
②10 月 31 日(水)	瀬戸市 パルティ瀬戸	17 名
③11 月 28 日(水)	大和エネルフ(株)カスタマーセンター	8 名(1 名ポーチのみ)
④1 月 23 日(水)	美園学園	14 名

また、モリコロ基金成果報告書冊子にあいち防災プロジェクトの取り組みが紹介されました。(次年度発刊予定とのこと)

課題 継続することが大切なので、当法人発信で、年に 2 回以上防災知識のアップデートを図りたいです。

(5) 収支について

収入 44,500 円(講師謝礼 ①・④ 5,000 円×2 回 ② 3,000 円×1 回 ③3,500 円×9 名)

支出 9,588 円(①・②・④印刷物等 ③交通費 3,000 円×2 名・防災グッズ 6,588 円)



■長期講座

【講座名】第 5 回子育て支援者養成講座

(1) 背 景

「子育て支援者養成講座」は子育て支援をテーマに子育て中の母親だけでなく、地域で活動している方々やこれから結婚する世代や学生がつながる場を生み出すため、ママの文化祭に向けて毎年開催します。

学び→実践→振り返りをすることで、高めた意識が地域の財産になると考えています。

(2) 現 状

開催日	1 限目	2 限目
第 1 回 11 月 7 日(水)	「今春日井市で受けられる子育て支援って？」 講師:NPO法人あいちかすがいっこ代表 松元永己	「子どもを育てるということ」 講師:玉葉会 乳児院
第 2 回 11 月 14 日(水)	「子どもの成長について」 講師:コーチングマーム代表 三浦真弓	「本当の性教育」 講師:コーチングマーム代表 三浦真弓
第 3 回 11 月 15 日(木)	「AED 使えますか？」 講師:愛知PUSH	学びの振り返り
第 4 回 11 月 29 日(木)	「親子広場見学」 講師:NPO法人あいちかすがいっこ代表 松元永己	修了式

【参加費】1 回のみ受講 1,500 円 全講座受講 4,000 円

託児費 0～1 歳 1,000 円 ・ 2～3 歳 500 円

(3) 変 化

今回で 5 回目の開催となりましたが、過去最低の参加率となりました。

(4) 成果と課題

成果 今回皆勤する方は 0 名でした。ただ、学びのアップデートのできる場所として今後も必要な内容だけでも開催していくべきだと感じました。受講者は延べ 22 名となりました。

課題 受講料がネックなのか、内容がネックなのか…参加者に解いたところ「子育て支援者」や「相互支援」の必要性が分からないと感じていることが分かりました。

(5) 収支について ※受講料無料・託児あり / 参加者人数延べ 22 名

収入 12,000 円 1,500 円/回・人×8 講座

支出 20,000 円 講師謝金

印刷費等

■市民活動事業

【事業名】NPO相談スタッフの配置

(1) 背 景

春日井市の市民活動の要でもある「ささえ愛センター」にて活動を統括する「市民交流会議」があります。

その 2017 年度、交流会議の役員の入れ替わりや世代の拡大を目的として、当法人代表の松元が役員に任命されました。その後、NPO相談員として「愛ちゃん」が配置され、団体に有意義な情報をお伝えしたり、団体運営について相談にのるスタッフへの育成を行います。

(2) 現 状

春日井市には市民活動団体が延べ 190 団体あります。しかし、ささえ愛センターでは「格安でコピーできる場所」としての利用がとて多く、また当初は施設の雰囲気自体も「ウェルカム」感があるとは言えませんでした。

しかし、「愛ちゃん」が施設に在中することとなり、「明るくなった」という声を頂けるようになりました。

(3) 成果と課題

成果

当法人スタッフ 3 名も「愛ちゃん」として所属しています。まだまだ課題ばかりですが、引き続き業務を遂行していきます。

課題

行政の職員さん同士(臨時職員さん含む)のコミュニケーションが円滑に進んでいるとは言えない状態ではあるものの、当初の目的「市民にもっと知ってもらい、参画したくなる市民活動へ」をスタッフ間でしっかり共有します。

(4) 収支について

収入 20,000 円 (助成金セミナー講師謝礼を事業収益とします)

支出 9,500 円 (スタッフ保育料補てん)

新れる相談役「今日の愛ちゃん」が登場します！



勤務するスタッフのみなさん

平成30年4月から、ささえセンターに新れる仲間が増えます！

NPOの会員として実際に市内で活動している元気なママたちが、市民活動の相談スタッフ「今日の愛ちゃん」として配属されることになりました。

←春日井市ホームページより

③地域交流・活性化に伴うイベント事業

【事業名】ネピア春日井ブランド化推進プロジェクト

(1) 背景

「ネピア」ブランド化推進プロジェクトの認知度の向上を図る各地の地域イベントに参加し、「ネピア」春日井ブランド化推進プロジェクトのPR活動を通じて、地産地消のブランドとして地域で盛り上げています。

また、市外の方に「春日井市の取り組み」としてPRも行っていました。

しかし、安価な紙製品の市場により、高品質で価格帯もママ世代が手にするきっかけが減少していると感じています。

「ネピア」春日井ブランド化推進プロジェクトとは？



(2) 現 状

日程	イベント名	配布人数	開催エリア
5 月 12 日(土)	子育て応援フェア in MOZO ワンダーシティエストコート	163 名	名古屋市
5 月 13 日(日)	第 36 回わいわいカーニバル	89 名	春日井市
6 月 21 日(木)	ハンドメイドマート # 16	161 名	尾張旭市
7 月 26 日(木)	Sunny side marcheVOL.3	174 名	長久手市
8 月 5 日(日)	ママ・ちょこハッピーフェア	250 名	扶桑町
9 月 16 日(日)	夢樹	160 名	春日井市
10 月 20 日(土) 21 日(日)	第 42 回春日井まつり	2,000 名	春日井市

(3) 変 化

今年度は、春日井市の 4 か月児健康診査の際に同時に行われているブックスタート事業に利用されました。

(4) 成果と課題

成果

様々な場面でこのプロジェクトのPRをしているため、周囲の方から「あいちかすがいっこ＝ネピア」という認知度も上がっている様に思います。

課題

ただ、市場の価格で「安価な商品が家庭に嬉しい」ということもあるため、今後「子どもに還元されるならnepiaを買おう」という世代が増えるよう、寄付先を子育て世代に大々的に周知することを引き続き行います。

また、春日井市内でのPRは継続して行っていますが、市外での活動にも積極的に参加し、企業とNPOが協働するモデルとなるよう引き続き行っています。また、配布時にはママスタッフの雇用にも繋げていきます。

(5) 収支について

収入 856,372 円(管理費として 32,400 円×12 カ月 388,800 円・イベント参画費一式 467,572 円)

支出 121,659 円(旅費交通費・業務委託費・消耗品費等)

【事業名】～みつかる つながる ママのネットワーク～ 第 6 回ママの文化祭®

(1) 目的

このイベントは、～地域を巻き込み、みんなで子育て～をテーマに、ママが主役の地域が元気になるイベントです。

100 人以上のボランティアスタッフやママがこのイベントを支え、「ママ・パパ×学生×企業×子育て支援団体×地域×行政」それぞれが、必要な人とつながる場を提供するために行います。

(2) 実施内容

日時 2019 年 1 月 18 日(金)10:00～15:00

場所 春日井市総合体育館

―来場者にとって―

自分と同じような環境の女性が頑張っている姿を見ることで、「私も何かやってみたい!」と感じてもらえます。

⇒実際に「来年は私も何かしたい」という声が集まりました。

―参加者(ママ)にとって―

「ひとりの女性」として、認めてもらえる場に。それぞれが達成感を感じてもらえること。

⇒幅広い世代との交流と、新たな人間関係の形成ができました。

―学生(ボランティアスタッフ)にとって―

母親世代に当たる実行委員との関わりが、会社組織とは異なった新たな女性組織との関わりの現場になります。

⇒イベントに関わるパパやママの姿が、結婚しても「やりたいことができる」「輝ける場がある」という期待につながり、また、母親たちのパワーを感じ、子育てしながらでも自分のやりたいことを実現できると感じてもらえました。

―企業・行政にとって―

「ママ×企業×行政」が繋がり、地域のニーズを目で見て、感じるができます。

⇒ママの文化祭を終えた企業様が、ママたちの動きに興味を持って下さり、積極的に関わってくれるようになりました。



(3) 成果と課題

成果

来場者数 2,000 組 延べ 4,000 人以上

課題

- ・来場者と参加者(出展者・スタッフ)との双方のコミュニケーションを深めるための施策の検討
- ・ボランティアスタッフの確保(定義の見直し)

- ・シャトルバスと臨時駐車場の確保
- ・2 階大会議室に設けた子育て交流館に授乳室を設置しましたが、第三者から姿が見える状態だったため再検討が必要
- ・ママブースと企業ブース出展について、事前説明会に出展者全員参加・参加者のマナー徹底
- ・来場者への公共交通機関利用の促進
- ・託児制度の見直し

(4) 収支について

収入 3,125,502 円

支出 1,569,626 円

【事業名】ちょっと小さなママの文化祭®

(1) 目的

開催地区は春日井市内に限らず、「ママのはじめの一步」を助長するイベントとして、

「～みつかる つながる ママのネットワーク～ ちょっと小さなママの文化祭®」を開催します。

地元企業とその地域で活動するサークル等の連携を図り、新たな関係を築く機会を作っています。

また、それぞれの地域の地元団体と連携し、今後の取り組みのパートナーを継承します。

(2) 実施内容

開催日	内容	場所	動員数
平成 30 年 4 月 28 日(土)	ワークショップ	①ナゴヤハウジングセンター春日井会場	約 150 組
平成 30 年 9 月 22 日(金)	ワークショップ	②ナゴヤハウジングセンター春日井会場	約 300 組
平成 31 年 3 月 30 日(土)	入園入学編	③大和エネルギー株式会社カスタマーセンター	約 120 組

(3) 成果と課題

成果

来場者数は上々です。また、開催した会場からも「やってよかった」「たくさん人が来た」などと嬉しい声を頂いています。

課題

マニュアル化した際の価格設定を検討していきたいです。

(4) 収支について

収入 ①140,400 円・② 200,000 円 ④7,750 円

支出 委託費・出展料としての受け取りの為、特になし

【その他地域交流・活性化に伴うイベント事業として関わったイベント】

- ・4 月 ささえ愛センターまつり 役員として運営のお手伝い
- ・5 月 あすろ実行委員会名古屋支部の一員として はっぴーひろば主催のおしゃべりフェスに参画
- ・6 月 平成 30 年度尾張地区家庭教育推進協議会委員として会議に参画
- ・9 月 王子ネピア様主催 「うんち教室」の協力(会場:松原小・高森台小 2 箇所で開催)

④子育て世代の交流、居場所を作る事業

【事業名】親子広場～なないろ広場～

(1)背 景

27 年度から始まったこの親子広場。0～8 カ月のお子様と保護者を対象にして勝川駅前の子育て子育て総合支援館で活動する支援団体が各月を担当して広場を運営しています。

(2)現 状

・親子広場～なないろ広場～

◆参加者人数 以下参照

※8 月は夏休みのため開催なし

開催月日	大人	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳～4 歳	合計
4 月 26 日	58 人	58 人	0 人	0 人	0 人	116 人
5 月 31 日	66 人	66 人	0 人	2 人	0 人	134 人
6 月 28 日	70 人	70 人	0 人	2 人	0 人	142 人
7 月 26 日	68 人	65 人	3 人	3 人	2 人	141 人
9 月 27 日	61 人	55 人	4 人	1 人	0 人	121 人
10 月 25 日	54 人	52 人	1 人	0 人	0 人	107 人
11 月 29 日	65 人	64 人	1 人	2 人	0 人	132 人
12 月 21 日	45 人	44 人	1 人	1 人	0 人	91 人
1 月 31 日	54 人	52 人	0 人	4 人	0 人	111 人
2 月 28 日	37 人	37 人	1 人	0 人	2 人	77 人
3 月 22 日	35 人	33 人	4 人	1 人	0 人	73 人
合計	613 人	590 人	12 人	10 人	8 人	1,232 人

(3)変 化

2018 年度より、春日井市のカメラマン、みなかたかつおさんが、ハッピーママズのギャラリーへ掲載する親子フォトを広場終了後に撮影していただいています。

(4)収支について

収入 6,000 円

支出 コピー代 660 円

～その他春日井内の単発の広場や座談会～

・親子広場～東部子育てセンター～

東部子育てセンターにて開催される「こぶたんキッズ親子教室」にて講師として依頼されています。

0 歳児「キャラメル A コース」(ハイハイまでのお子さま対象) 参加人数 15 名×3 回

開催日 4 月 12 日(木)・9 月 6 日(木)・3 月 28 日(木)

収支 0 円

⑤母親の社会復帰を応援する事業

【事業名】4 か月児健康診査サンプリング

(1)目的

ネピア春日井ブランド化推進プロジェクトの活動の一環として、春日井市で開催されている4か月児健康診査にて紙オムツのサンプリングを行います。その際に、ママスタッフを雇用し、社会とのつながりの場を提供します。

(2)実施内容

◆開催月日と配付枚数(1 人 1 袋枚配布)

(3)成果と課題

開催月	開催日					配付人数
4 月	4日 42名	11日 34名	17日 40名	18日 38名	25日 40名	計 194名
5 月	9日 49名	16日 44名	22日 48名	23日 43名	30日 47名	計 231名
6 月	6日 40名	13日 42名	19日 43名	20日 34名	27日 42名	計 201名
7 月	4日 36名	11日 40名	17日 35名	18日 42名	25日 39名	計 192名
8 月	1日 40名	8日 46名	21日 34名	22日 46名	29日 38名	計 204名
9 月	5日 58名	12日 53名	18日 48名	19日 43名	26日 50名	計 252名
10 月	3日 48名	10日 47名	17日 35名	24日 46名	31日 49名	計 225名
11 月	7日 42名	13日 41名	14日 47名	21日 45名	28日 44名	計 219名
12 月	5日 46名	12日 41名	18日 42名	19日 52名	26日 44名	計 225名
1 月	9日 43名	16日 41名	22日 38名	23日 44名	30日 52名	計 218名
2 月	6日 49名	13日 39名	19日 48名	20日 45名	27日 41名	計 222名
3 月	6日 45名	12日 48名	13日 37名	20日 47名	27日 48名	計 225名
合計(延べ数)						計2,608名

成果

春日井市内で出産した赤ちゃん和妈妈に98%以上確実にお会いすることができるこの機会、すべての方におむつを配布できることは、このプロジェクトをPRするにはとてもよい機会でした。

課題

引き続き来年度も配布させていただけるようにしていきます。また、配布のチラシについてはデザインを変更し、より当法人を知っていただける工夫をしたいと思います。

健診の順番を待っている保護者がスマートフォンを触っている方が多く、この日だけでもお子様を見て頂ける工夫ができないか春日井市子ども政策課に打診しました。現在の配布スタッフも元保育士の為、そのスキルも役立てて頂ける様行政と連携し、親子にとって素敵な時間の過ごせる空間作りをしていきたいです。

(5) 収支について

収入 50,000 円×12 カ月＝600,000 円

支出 配布スタッフ 外注費 25,000 円/月×12 カ月＝300,000 円

【事業名】大和エネルギー㈱カスタマーセンターの管理業務

(1) 背景

平成 27 年より大和エネルギー㈱カスタマーセンター内のレンタルスペースの管理(貸館業務)を行っています。
予約管理や清掃等も当法人で行います。

(2) 現状

今年度の稼働率は約 70 パーセントでした。前年度に比べ 2 倍程度にはなりましたが、収入の部分では、当法人の利用の場合費用が発生しないため、収益としてはまいちとなっています。

(3) 変化

様々な媒体等で貸館のご案内をしているので、着実に増えています。

	会場名	【午前】9:30～12:30	【午後】12:30～17:00
3 階	エネルギーホール(60 名用会議室)	3,240 円	4,860 円
	社員研修ルーム	1,080 円	1,620 円
	中会議室	1,080 円	1,620 円
4 階	大会議室(24 名用会議室)	2,160 円	4,320 円
	中ホール	1,620 円	2,160 円
	多目的ルーム(16 名用和室)	1,080 円	1,620 円
	屋上パノラマガーデン	2,160 円	3,240 円

(4) 成果と課題

成果 昨年度の利用数からみると 2 倍程度の利用率になりました。

課題 春日井市内に無料利用できる施設が現在増えています。また、企業内の施設の場合は無料で貸し出しているケースもあるため、差別化できることを(設備面と立地)しっかりとPRすべきだと感じています。

ただ、企業様から問合せの多い夜間や土日の利用の要望には現在応えられないため、当法人の次年度事業「ママステーション」で利用者を増やすことも行っていきます。

(5) 収支について

収入 873,400 円

支出 64,776 円(雑費 12,341 円・消耗品費 52,435 円)

【事業名】ノックノックホームサポート

(1) 目的

春日井市からの委託事業として、「子育て家庭訪問支援事業」を受託。

子ども(特に乳児)に対する虐待の防止や、母親の孤独育児からの救済として行います。

(2) 実施内容

子育て支援員基本研修を受講した支援員が依頼者の元へ訪問し、お話をします。

また、今年度は赤ちゃん訪問隊との連携や産院(春日井市内 4 医院と春日井市民病院)にも案内を行い、孤立育児や育児不安の軽減につながるよう積極的に働きかけます。

Q. 利用の流れはどうなりますか？

A. スタッフがチームから申し込めと、訪問日の調整等のためNPO法人員あいちからこのスタッフから電話で連絡が入ります。初回は支援員（訪問する）1名と訪問し今後の利用内容の計画を立て、2回目以降の訪問は、支援員1名で訪問します。

Q. どんなサポートをしてくれるんですか？

A. 子育てを大変な方が、一緒にママに寄り添います。「ちょっとお話ししたい」「子育てで支援センターに行ってみたい」など、「お子さんとの日常」のお手伝いを一緒にします。

Q. 支援員はどんな人ですか？

A. 研修を受けた子育て経験がある女性です。

Q. 体調不良（熱・咳・鼻水・感染症薬を内服中など）でも利用できますか？

A. 体調不良のみのいずれかが、体調不良の理由で利用できません。また、薬を飲んでいる（風邪、不整など）にうつる病気の薬）場合も利用できません。鼻血などにより、常時薬を飲んでいる場合は利用できます。なお、キャンセルされるときは、早めにご連絡ください。

Q. 一緒に外出しても場合、どこでも同行してくれますか？

A. 原則、春日井市内の子育て支援施設に限らせていただきます。
ただし、依頼内容や場所によって対応可能な場合がありますのでご相談ください。

Q. 離乳食を作ってくれますか？

A. 支援員が一人でやることはできませんが、ママと一緒に作ることはできます。
ただし、栄養士等の資格はありませんので、指導はできません。

Q. 掃除や洗濯などの家事や託児をお願いできますか？

A. 家事のお手伝いや衣類かけ（留守番）等はできません。

Q. 利用に必要な用品は誰が準備するのですか？

A. 必要な用品は、ママが準備してください。

Q. 支援員の車に乗せて一緒に出かけってもらうことはできますか？

A. できません。外出先への同行は、現地集合です。

Q. 車に同乗してもらえますか？

A. 車の同乗は、保険等の関係でできません。

成果

訪問月	初回訪問件数	2 回目以降訪問件数
4 月から 6 月	1 件	0 件
7 月から 9 月	10 件	0 件
10 月から 12 月	10 件	0 件
1 月から 3 月	10 件	1 件

課題

初回訪問するにあたり訪問員 2 人のコミュニケーションが不足していると、訪問先で依頼者も不安になるため、事前に訪問員同士の打ち合わせは必要です。

子育て支援センターなどを紹介するにあたり、事前に訪問先周辺の交通手段を調査し、行きやすい場所を調べておくことも必要になります。

(4)収支について

収入 526,818 円（運営費・訪問日・研修費等）

支出 93,066 円

研修時講師謝礼 32,000 円(16,000 円×2 回)

支援員訪問時謝礼 46,000 円(1,500 円×30 回・1,000 円×1 回)

印刷製本費 1,566 円 会場費 13,500 円

⑥女性のライフスタイルにかかわる事業

【事業名】未来にいいこと応援プロジェクト モアハピプロジェクト 第1弾

(1)目的

大和エネルギー様が行う奨励金事業として行いました。事業は2事業に分かれています。

《A》ママが元気な街 春日井発信 子(個)と社会をつなげる人材を育てよう

《B》女性活躍社会の実現に向けたアクションプラン

(2)実施内容

《A》事業について

ママフレ事業の立ち上げ:ハンドメイド作家から個人事業主としての成長

・当時は子育ての合間を使って始めた「ハンドメイド」。自分の作品が売れていくことに喜びを感じ、さらなる商品の質の向上とブランディングの大切さを学ぶ機会を設けました。

・当法人主催のイベントだけでなく、質の高いイベントとして知られている他市のイベントへの参加も行い、春日井市の作家として様々なエリアでの活躍に挑戦しました。



豊橋のマルシェの実行委員へノウハウ提供

・当初、豊橋での「ママの文化祭」開催を検討しましたが、すでにイベント複数回開催しているものについては”名前を変更すること”はあまり望ましくないと判断しました。そこで、豊橋にてイベントを開催している企業様とその運営委員会様を対象に育成講座を行いました。

・プランシートに基づきライフスタイルの見直しをはかり、よりイベント等に積極的に関われるよう自分の現在の環境を明確にしてもらいました。



《B》事業について

地元企業へのヒヤリング

・女性の就業率の高い 2 つの業態に着目し、取材をさせて頂きました。

1 社目は【(株)ブランシェ】様、もう 1 社は【ホンダロジコム(株)】様です。

双方共に実際に企業内保育所を設けておられ、女性の雇用については以前から積極的に取り組んでいることが分かりました。しかし、その活動においてまだまだ地域で知られていないことが多々あり、その広報を担う形で今回当法人の取材が自社PRにもつながる結果となりました。



リーフレット作成

・カタチに残る物として、今回は春日井で活動する個人事業主のママにご協力いただき、リーフの作成を行いました。

紙面の構成は、①女性のライフスタイルの変化 ②企業インタビュー（親以外の大人と子どもが関わる機会は地域の財産・職場環境について）③当法人が春日井市で行う事業 ④応援企業のご紹介などを掲載しました。

今後男女ともに活躍する社会を実現するために、まずは「女性」にフォーカスをし、社会の変化に合わせて私たちも向かい合えないといけないことがあると考えています。



・実際に SNS で発信した際に、他県からの取り寄せ依頼がありました。

その他協力企業様においては、追加で購入いただき、社内で活用して頂きました。

(1 冊 800 円・50 冊以上 500 円小売り価格)



(3) 成果と課題

成果

《A》事業について

自分自身が社会の一員として活躍していることを実感できました。

それぞれの「家族サイズ」を知ることが、どれだけ大切なことで、それは女性が様々なライフステージにおいて見通しをもって考えるためには必要不可欠なことだということを知る機会を受講者が持つことが出来ました。

《B》事業について

当法人独自の形で中間支援組織として企業や行政に発信する大きな機会となりました。

作成したプランシートで「家族の未来が見えた」という声を得ることが出来ました。

課題

《A》事業について

費用対効果について：当法人は行政とは異なり、質の向上を求め様々な課題に取り組む際、それに対するお金（収益）が現在はずいぶんについてこないことが過去の経験から分かってきました。（ママの文化祭の認知度の変化にも同じことが言えます）その意味では、日ごろからの取り組みで企業様を巻き込むことが活動の継続には必要不可欠であり、また地域にこだわり活動することが、信頼につながっていることが分かりました。次年度は今年度の課題解決のために企業会員様との連携を密にし、取り組みに興味を持ってくださった企業様を積極的に活動に巻き込んでいく取り組みを行っていきます。

《B》事業について

・企業との連携 ・若年層（30 代以下）のママへの認知の向上 ・男性（パパ）社会の「今」を解決するために、次年度も事業を継続して行います。

(4) 収支について

収入 《A・B》事業 1,000,000 円（未来にいいことプロジェクト奨励金）

支出 976,692 円（業務委託・印刷製本費・外注費・通信運搬費・広告宣伝費 等）

【その他女性のライフスタイルに関わる事業】

・4 月 春日井中央倫理法人会 第 31 回経営者モーニングセミナーにて登壇

・7 月 あいち・ウーマノミクス推進事業

輝く女性ソーシャルビジネスコンテストあいち 2018 “ソーシャルビジネスと女性の起業”について登壇

その他の事業に関わる事業

特になし

以上



～今年度開催した理事会及び総会について～

■今年度の総会開催日■

第4回通常総会 2018年6月12日(火)10:00～

1 日 時 平成30年6月12日(火)

開会 午前10時

2 場 所 春日井市瑞穂通6-17-1

大和エネルギー(株)カスタマーセンター4階

3 審議事項

(1)第1号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ
平成29年度事業報告書及び決算報告(監査報告)について

(2)第2号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ
役員の変更について

・任期満了につき再任9名

・辞任1名

(3)第3号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ
平成30年度事業計画書及び収支予算書について

(4)第4号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ
定款第55条の変更について

(第5回通常総会 2019年6月17日(月)10:00～)

■今年度の理事会開催日■

第12回 理事会 2018年5月8日(火)10:00～

1 日 時 平成30年5月8日(火)

開会 午前10時00分

2 場 所 春日井市瑞穂通 6-17-1

大和エネルギー(株)カスタマーセンター 4 階大会議室

3 審議事項

(1) 第 1 号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ

平成 29 年度事業報告について

(2) 第 2 号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ

平成 29 年度決算報告について

(3) 第 3 号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ

平成 30 年度事業計画について

・全事業

・奨励金事業

(4) 第 4 号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ

平成 30 年度予算について

(5) 第 5 号議案 第 4 回総会について

任期について

第 13 回 理事会 2018 年 10 月 29 日(月)10:00～

1 日 時 平成30年10月29日(月)

開会 午前10時00分

2 場 所 春日井市瑞穂通 6-17-1

大和エネルギー(株)カスタマーセンター 4 階大会議室

3 審議事項

(1) 第 1 号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ

平成30年度事業進捗状況について

(2) 第 2 号議案 平成31年度ささえ愛センターの業務について

(3) 第 3 号議案 第 6 回ママの文化祭について

(4) 第 4 号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ

長期ビジョンについて

第 14 回 理事会 2019 年 2 月 12 日(火)10:00～

1 日 時 平成31年2月12日(火)

開会 午前10時00分

2 場 所 春日井市瑞穂通 6-17-1

大和エネルギー(株)カスタマーセンター 4 階大会議室

3 審議事項

(1) 第 1 号議案 第 6 回ママの文化祭について

(2) 第 2 号議案 平成30年度事業進捗について

(3) 第 3 号議案 ささえ愛センターの業務について

(4) 第 4 号議案 特定非営利活動法人あいちかすがいっこ

長期ビジョンについて

- (5) 第 5 号議案 来年度の事業計画について
- (6) 第 6 号議案 第 5 回総会について